



東京大学大学院松尾研究室による AIサマースクール

9/22 香川高専詫間キャンパス

昨年に続き、AIサマースクールが開催されました。オンラインで開催された講義には、高校生から社会人まで28人が受講し、人工知能の基礎的な知識や技術の最先端である深層学習（ディープラーニング[※]）について理解を深めました。

※ディープラーニング……人間が行う作業をコンピューターに学習させること

▲東京大学大学院の松尾豊教授がオンラインで講義



大倉工業株式会社から三豊市への企業版ふるさと納税寄付金贈呈式



大倉工業株式会社からの寄付

9/29 三豊市役所

大倉工業株式会社から、企業版ふるさと納税として「宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト」に活用してほしいと5,000万円の寄付をいただきました。神田進代表取締役社長執行役員は「スポーツを起点に子どもの夢実現や市民の健康づくりなどを目標に掲げた素晴らしい構想」とご賛同いただきました。

四国化成工業株式会社からの寄付

10/12 三豊市役所

四国化成工業株式会社から、企業版ふるさと納税として「宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト」に活用してほしいと5,000万円の寄付をいただきました。田中直人代表取締役社長兼C.E.O.は、プロジェクトについて「顧客・従業員・株主に地元貢献を加えた、四方よしという私たちの理念に相通じるものを感じた」とご賛同いただきました。

四国化成工業株式会社から三豊市への企業版ふるさと納税寄付金贈呈式



みとよ探究部が活動開始！

9/25～ 市内企業 他

市内の中学生・高校生を対象に「みとよ探究部」が発足しました。これは、子どもたちが地元の産業や仕事について理解を深めながら、地域の課題解決や魅力発信に関連する個人ごとのプロジェクト学習であり、9人が参加しています。一人ひとりの探究力やコミュニケーション力、表現力を向上させること、また生き方やキャリアについて考えるきっかけにしてもらうことを目的に実施しています。

今後もまちあるきやワークショップを通して、自分が一番わくわくすることを発見、研究して2月末に個人テーマごとに成果発表を行う予定です。



▲株式会社わく堂で、建築や設計の仕事を学びました



▲ゲストハウス「積凧」で集合写真



▲建築や設計のイメージを出すため、改装前の建物を実際に見学しました

みとよHOT NEWS

ほととニュースは市ホームページでも

三豊市



地域社会の形成および課題解決に向けて

10/12 三豊市役所

市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、相互に密接に連携することで、それぞれの資源を有効に活用した協働による活動を推進し、個性豊かで活力のある地域社会の形成および地域課題の解決を図るために包括的連携協力協定を締結しました。

今後は地域のさまざまな課題に迅速に対応し、解決することで地域のさらなる活性化をめざします。

環境学習を通じてオンライン交流

9/22 松崎小学校

松崎小学校の6年生が、高松市立牟礼小学校の4年生とオンライン交流授業を行いました。松崎小学校の児童からは、7月に粟島で海ゴミ拾いをしたことやSDGs[※]について学んだことを発表。この他にも両校は川や海の環境を守るために自分たちができていることを話し合いました。

※SDGs…2015年の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界をめざすための目標



お知らせ 合併処理浄化槽の補助金を交付します

▶申し込み・問い合わせ 環境衛生課 ☎73-3007

対象地域 市内全域
 ※高瀬・三野・詫間・仁尾町の集落排水処理事業実施区域は除きます。

補助対象と補助限度額
 ●専用住宅もしくは併用住宅に合併処理浄化槽を設置する場合

区分	高度処理型浄化槽 (窒素またはリン除去型)		
	11~20人槽	7人槽	5人槽
併用住宅の人槽区分については、住宅部分面積によります。	109万2千円	46万2千円	38万4千円
※合併処理浄化槽の更新工事は、対象外です。	68万5千円	56万2千円	48万4千円
※令和4年2月末日までに実績報告(工事完了後の報告)できるものが今年度の補助対象です。その他要件がありますので、環境衛生課までお問い合わせください。	119万2千円		

●専用住宅の単独処理浄化槽、汲み取り式トイレから合併処理浄化槽に転換する場合
 撤去費限度額 10万円

必要書類
 ・補助金交付申請書（市ホームページからダウンロードできます）
 ・各種添付資料
 ※申請書の作成および提出は施工業者とご相談の上、行ってください。

提出先 環境衛生課

合併処理浄化槽設置整備事業補助金

ジャガイモの植え付けに挑戦！

9/21 麻小学校・麻幼稚園周辺



▲均等な間隔で、種芋を植えるための穴を掘りました

麻小学校の2・3年生と麻幼稚園の子どもたちが、麻環境保全会と高瀬町公民館麻分館の協力により、ジャガイモの植え付けを体験しました。子どもたちは、大人に植え方を教わりながら一つずつ丁寧に種芋を植えていきました。この日植えたジャガイモは12月頃に収穫を予定しています。



▶1人2、3個ずつ種芋を受け取りました